

◇ 京橋地域クリーン巡回事業 要望案

2026 年 5 月 7 日

作成：京橋一番街商店会 鷺見 俊彦

※本案は、大阪市・都島区の公表資料、他都市の清掃事例、京橋地域の現状認識を基に作成した提案です。

1. 要望の趣旨

京橋地域では、吸い殻、空き缶、食べ歩き後のごみ、ポイ捨て等が日常的に発生しており、地域・商店会・企業・ボランティアによる清掃活動だけでは、恒常的な改善に至っていない。

都島区の令和 8 年度運営方針説明資料でも、「ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態」がめざすべき将来像として示されている。

また、環境美化の推進は令和 8 年度予算 4,401 千円で、内容はボランティア清掃、種花ボランティア、特定空家等の是正、広報発信等が中心である。さらに、京橋地域における客引き行為や路上喫煙対策は、令和 8 年度予算 52 千円にとどまっている。

したがって、京橋地域には、啓発やボランティア清掃に加えて、日常的に発生するごみを継続的に処理する有償清掃体制が必要である。

2. 要望する事業

- ・事業名：京橋地域クリーン巡回事業
- ・年間予算：20,000 千円、つまり 2,000 万円
- ・実施方式：行政による直接採用、または都島区予算による清掃・美化巡回業務委託
- ・対象地域：京橋駅周辺、京橋一番街、商店街主要導線、周辺道路
- ・目的：吸い殻、ポイ捨て、散乱ごみの常時抑制
- ・基本設計：

項目	内容
清掃員	3 名を基本体制（1 日 2 名配置）
清掃員給与想定	1 人あたり年収 500 万円
清掃員給与総額	1,500 万円
年間事業費	2,000 万円
稼働方式	シフト制・毎日巡回
必要人工	365 日×2 人=730 人工
公務員基準での勤務日数	1 人あたり年 240 日程度
有給 15 日考慮後の実働	1 人あたり年 225 日程度
3 名体制での実働人工	225 日×3 名=675 人工
上記の場合 不足人工	730 人工 - 675 人工 = 55 人工不足
上記の場合 不足対応	代替要員・短時間補助員 0.3 名相当を事業費内で確保

清掃員 3 名を基本体制とし、1 日 2 名配置を原則とする。

公務員基準の年間勤務日数および年次有給休暇 15 日を考慮した場合、3 名のみでは年間約 55 人工が不足する。

運用方法としては、次の 2 案が考えられる。

- ① 全休日あり：年間 28 日程度の全休日を設け、3 名体制のみで年間 337 日程度の巡回清掃を行う。
- ② 全休日無し：代替要員・短時間補助員 0.3 名相当を確保し、年間 365 日の巡回体制を維持する。

京橋地域の性質を踏まえると、金曜・土曜・祝前日・イベント後・繁忙期の翌朝など、ごみが多く発生しやすい日は優先的に巡回日とすべきである。

3. 年間 2,000 万円の内訳案（金額は目安）

項目	金額
清掃員給与 3 名 × 年 500 万円	1,500 万円
社会保険・労務管理・代替要員調整	250 万円
制服・清掃道具・ごみ袋・手袋・トング等	50 万円
現場管理・月次報告・定点写真記録	100 万円
ごみ一時集積・処理調整・予備費	100 万円
合計	2,000 万円

本事業は、最低賃金型の短時間清掃ではなく、責任を持って京橋地域を継続管理する清掃員を配置する事業である。単なる安価な外注清掃ではなく、日々京橋を見回る「街の清掃担当者」を置く事業として位置づける。

4. 稼働イメージ（内容要検討）

曜日・時間帯	内容
平日朝	夜間に出た吸い殻、空き缶、散乱ごみを回収
平日日中	重点地点の巡回、啓発補助、定点確認
金土日・祝前日翌朝	飲食街・商店街周辺を重点清掃
月 1 回	吸い殻数、ごみ袋数、定点写真を集計
年 4 回	京商連・区役所・地域団体へ改善状況を報告

3 名全員が毎日同時に稼働するのではなく、休暇・欠勤・週末重点対応を含めて、常時巡回できる体制とする。

5. 他地域の参考事例

◇事例 1：大阪市ミナミ

大阪市は令和 8 年度予算で、ミナミエリアの「まちの美化推進事業」に 3 億 800 万円を計上し、現在のターミナル周辺の早朝巡回清掃をミナミエリア全域に拡大して、毎日清掃を実施するとしている。清掃範囲が広いため、10 エリアに分割して清掃委託を行う設計である。

また、ミナミでは「ミナミごみゼロカート事業」として 3,500 万円を計上し、カートを押しながら道頓堀周辺を毎日巡回し、来街者からごみを回収するとともに環境美化の啓発を行うとしている。

◇事例 2：ニューヨーク・タイムズスクエア

タイムズスクエアでは、Times Square Alliance が制服を着た清掃員チームを置き、1 日 30 万人を超える来街者がある地域を、ほぼ常時清潔に保つ業務を行っている。清掃内容には、歩道・縁石の清掃、ごみ箱の回収、落書き除去、歩道の洗浄・消毒、独自清掃車によるごみ袋回収などが含まれる。

◇事例 3：ロンドン・ウェストミンスター

ロンドンのウェストミンスターでは、300 人の街路清掃員が 24 時間体制で街路を清掃しており、年間でごみ箱から 6,650 トン、地面から掃き集めたごみ 12,350 トンを回収している。特にパブ、カフェ、ファストフード店が集中する地域では、定期的な洗浄が必要とされている。

・京橋への示唆

これらの事例から、繁華街・商業地では、清掃は単なる美化ではなく、来街者の安心感、商業価値、地域イメージを維持する基盤業務として扱われている。

京橋も飲食店・喫煙・夜間利用が多い地域であり、構造的にごみが発生しやすい。

したがって、「汚れたら清掃する」ではなく、「汚れる前提で日常的に巡回する」体制が必要である。

6. 都島区予算からの振替案

都島区の令和 8 年度関連予算は 1,017,427 千円、区長自由経費は 509,314 千円である。年 2,000 万円は、区長自由経費の約 3.9%に相当する。

「予算を削る」のではなく、魅力発信・イベント型施策の一部を、現場で効果が見える清掃巡回へ重点配分するという考え方である。

振替元候補	現行予算	振替案
都島区魅力創出發信事業	4,473 万円	1,200 万円
区の魅力発信・広報系経費 推定 2,000 万円台	要精査	300 万円
区庁舎設備維持費・契約差金等の精査	前年比増額分あり	500 万円
合計		2,000 万円

都島区魅力創出發信事業は令和 8 年度予算 44,730 千円であり、水辺のまちづくり、歴史・文化資源を活かした地域活性化、都島区まちづくりビジョン 2040 に向けた取組などが含まれている。

京橋の清掃巡回事業は、魅力創出發信事業と対立するものではなく、むしろ京橋地域の魅力を実際に高める基盤施策として位置づけられる。

なお、上記の振替元候補は、特定事業の否定を目的とするものではなく、京橋地域の現場改善効果を高めるための重点配分候補として提示するものである。

7. 効果検証指標

指標	目標
重点地点の吸い殻数	1 年で 50%減
散乱ごみの定点写真改善	月次比較で改善確認
ごみ袋回収量	初期 3 か月で基準値化、以後減少傾向
苦情・通報件数	1 年で 20～30%減
商店街アンケート	「きれいになった」70%以上
巡回実施日数	原則 365 日。ただし全休日型の場合は年間 337 日程度

8. 結論

京橋地域クリーン巡回事業として、「清掃員 1 人あたり年収 500 万円相当の人件費を見込む、常勤型・責任配置型の清掃巡回事業」を創設することを要望する。

実施方式については、京橋地域の美化状態を継続的に把握し、地域に責任を持って巡回できる体制を構築する観点から、行政による直接採用または行政管理下での専属清掃員配置が望ましい。

直接採用とすることで、清掃員が単なる外注作業員ではなく、京橋地域を日常的に見守る「街の清掃担当者」として機能しやすくなる。また、清掃状況、ポイ捨ての多い場所、吸い殻の発生地点、放置自転車や路上喫煙等の地域課題を継続的に把握し、都島区役所・京商連・商店会・地域団体と連携しやすくなる。

一方で、行政による直接採用には、採用手続き、労務管理、有給・欠勤対応、代替要員確保、人員定数等の課題

も考えられる。そのため、制度上すぐに直接採用が難しい場合は、都島区予算による清掃・美化巡回業務委託として実施し、仕様書上で「京橋地域専属の清掃員配置」「1人あたり年収500万円相当の人件費確保」「継続的な定点巡回」「月次報告」を条件化することが望ましい。

本事業は、単なる安価な外注清掃ではなく、日々京橋を見回る「街の清掃担当者」を配置する事業として位置づけるべきである。

また、発展性として、当該人員を確保することで、清掃以外にも、放置自転車、路上喫煙、ポイ捨て防止、客引き対策等の啓発補助業務と連携することも考えられる。

京橋地域は、都島区の主要な玄関口であり、区の印象を大きく左右する地域である。したがって、京橋地域の清掃・美化巡回体制を整備することは、単なる環境美化にとどまらず、来街者の安心感、商店街の魅力向上、地域の商業価値向上につながる基盤施策である。

以上の理由により、年間2,000万円規模の「京橋地域クリーン巡回事業」の創設を要望する。

別紙：都島区予算配分一覧

京橋地域クリーン巡回事業の検討に関する参考資料

※金額は大阪市公表の令和 8 年度都島区予算事業一覧を基に整理。単位は千円。

割合は区長自由経費 509,314 千円に対する概算。

1. 区長自由経費の大枠

分野	令和 8 年度予算	割合	主な内容
その他	309,071	60.7%	区役所運営、庁舎維持、住民情報業務委託等
人がつながり、いきいきと暮らせるまち	69,997	13.7%	地域コミュニティ、区民まつり、地域福祉等
明日に誇れるまちづくり	67,981	13.3%	魅力創出、魅力発信、まちづくり関連
子どもが輝くまち	44,536	8.7%	子育て支援、児童虐待防止、学習支援等
安全・安心のまち	17,729	3.5%	防災、防犯、環境美化、路上喫煙対策等
合計	509,314	100.0%	-

2. 主な予算と本提案 2,000 万円との比較

事業名	令和 8 年度予算	割合	本提案との比較
区庁舎設備維持費	130,148	25.6%	本提案は約 15.4%相当
都島区役所住民情報業務委託	78,475	15.4%	本提案は約 25.5%相当
都島区役所運営事務費	58,897	11.6%	本提案は約 34.0%相当
都島区魅力創出発信事業	44,730	8.8%	本提案は約 44.7%相当
区の魅力発信	23,251	4.6%	本提案は約 86.0%相当
防災活動の強化・推進事業	10,094	2.0%	本提案は約 2.0 倍
区民まつり事業	9,628	1.9%	本提案は約 2.1 倍
安全で美しいまちづくり事業	4,453	0.9%	本提案は約 4.5 倍
防犯・交通安全対策事業	3,182	0.6%	本提案は約 6.3 倍
京橋地域クリーン巡回事業案	20,000	3.9%	区長自由経費の約 3.9%

まとめ

都島区の区長自由経費 509,314 千円のうち、環境美化・路上喫煙対策等を含む「安全で美しいまちづくり事業」は 4,453 千円、全体の約 0.9% にとどまっている。

一方で、区庁舎設備維持費 130,148 千円、住民情報業務委託 78,475 千円、都島区魅力創出発信事業 44,730 千円など、比較的大きな予算配分が存在する。

京橋地域クリーン巡回事業の年間 2,000 万円は、区長自由経費全体の約 3.9%であり、都島区の主要玄関口である京橋地域の環境改善・来街者印象向上・商業地価値向上を図る基盤施策として、検討に値する規模である。